

中生品種も刈取適期に入っています！ 圃場の状況を確認し、適期内に刈取りを！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

庄内地域では「はえぬき」「雪若丸」の刈取りが始まっており、村山地域の平坦部でも刈取適期に入りました。8月以降に出穂した圃場や地域でも、登熟は順調に進んでおり、間もなく刈取適期を迎えるとみられます。

◎当面の技術対策

■適期刈取りの徹底

今年は、登熟進度の地域間、圃場間のばらつきが大きい
ため、例年以上に各圃場の刈取適期をよく見極める必要が
あります。刈取適期は、出穂後の積算気温を目安とし、青
糲歩合、糲水分の低下を確認した上で、枝梗の黄化、倒伏
程度なども考慮して、総合的に判断します。

なお、今後1週間は、雨や曇りの日が多い予報であり、
晴れ間をぬっての収穫作業になると見込まれます。タイミ
ングを逃さず、速やかに作業を開始できるように体制を整
え、計画的に作業を進めましょう。



図 9月4日収穫の「はえぬき」玄米
鶴岡市、7月25日頃出穂
青糲歩合10～15%、糲水分25～29%

表 「はえぬき」「雪若丸」の刈取適期の目安（9月6日時点）

地 域	はえぬき		雪若丸	
村山（山形市）	9/6～18	（3日早い）	9/10～21	（並み～1日早い）
最上（新庄市）	9/18～10/2	（並み～1日早い）	9/18～10/2	（3～4日早い）
置賜（川西町）	9/14～27	（1～2日遅い）	9/12～24	（1～2日遅い）
庄内（酒田市）	9/1～12	（5日早い）	9/1～12	（7日早い）

注1）生育診断圃のデータをもとに算出、カッコ内は平年との差

注2）刈取適期の目安となる積算気温は「はえぬき」950℃（村山、庄内は900℃）、「雪若丸」950℃（庄内は900℃）、「つや姫」1,000℃（庄内は950℃）

■高品質米に仕上げる乾燥調製

- （1）乾燥機の送風温度を確認し、急激な乾燥や過乾燥とならないように注意しましょう。二段乾燥を行うなど、丁寧に乾燥しましょう。急激な糲の乾燥は胴割粒の発生要因となります。
- （2）糲すりを行う前には、必ず「試し摺り」を行い、肌ずれ、碎米、胴割れ、糲及び夾雑物混入等がないことを確認して連続作業に入りましょう。
- （3）選別は1.90mm網目（LL）（「雪若丸」は1.95mm（GL）推奨）の使用を基本とし、整粒歩合の向上を図りましょう。
- （4）着色粒を色彩選別機等で取り除き、高品質米に仕上げて出荷します。

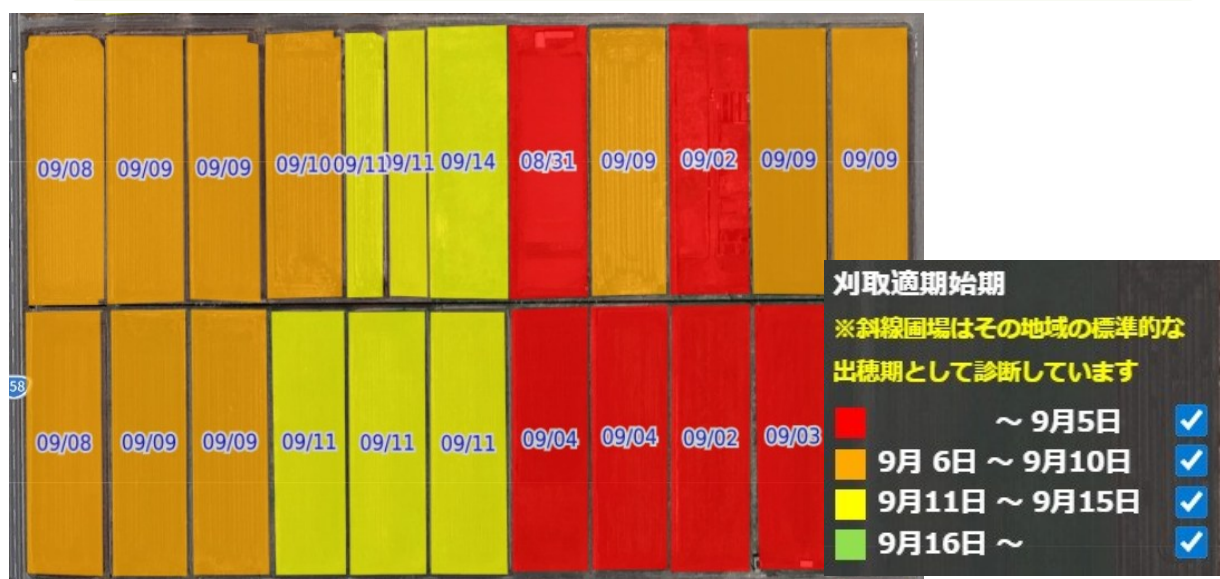
適期刈取には、AgriLook®（やまがた米づくりナビ）を活用しよう！
「適期作業カレンダー」で圃場の予想刈取適期をチェック！

品種 : はえぬき
移植日 : 2026/05/16
苗の葉齢 : 2.5 枚

発育予測実行

9月7日現在の生育ステージ	10.9葉期頃 出穂後38日頃
管理・生育ステージ	作業適期の 予測結果
移植日	5/16
茎数を確認し、中干し開始を判断（8葉期頃）	6/17頃
穂肥適期	7/6頃
湛水（花水）に切り替え（出穂期3日前頃）	7/28頃
出穂期	7/31頃
斑点米カメムシ類防除（穂揃期）	8/3頃
斑点米カメムシ類防除（穂揃期後7～10日）	8/10～8/13頃
落水（出穂後30日以降）	8/30頃
刈取適期 ※高温登熟年のため刈取適期の前倒し	—
刈取開始（出穂後積算気温950℃）	9/9頃
刈取晩限（出穂後積算気温1200℃）	9/19頃

「刈取適期マップ」で刈取の優先順位が一目で分かる！



農作業事故に十分注意してください！